

科目名 ナンバリングコード	久留米大学の理念と歴史 RES1511MN1	必修科目	1 年次 1 学期	講義・実習	1 単位
科目責任者	医学部看護学科 教授 三橋 睦子				
科目担当者	久留米大学学長 内村 直尚 医学部看護学科 孫田 千恵、専任教員 2 名				
教育目標 到達目標	<p>教育目標</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 大学としての建学の精神、自校の歴史と看護のパラダイムシフトについて理解する。 2) 自律的に生涯を通して最新の知識・技術を学び続けるための能力について考究する。 3) 久留米の歴史と生活、経済、文化のつながりを中心に、発祥の秘話や歴史を踏まえて、問題・課題とその対策等について考究する。 <p>到達目標</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 久留米大学が目指すものを具体的に明文化した理念について理解し、記述できる。 2) 永年の自校の歴史とともに、大学との絆、大学を介した同窓生の絆を確認できる。 3) 久留米産業の現地学習、体験学習に参加し、その歴史と大学や健康との関連性について記述できる。 4) 久留米の産業について、今なお生き続ける強みと国内やアジアで発展・進化する方略について、自己の考えを記述できる。 5) 久留米の地に誇りをもち、新しい時代の医療のキーパーソンとしての自己の将来について記述できる。 				
授業計画					
授業回数	授業の内容	担当者等	準備学習（予習・復習等）	必要時間	
第 1 回	久留米大学の理念と歴史、建学の精神	内村【講義】	大学理念・シラバス確認	60 分	
第 2 回	久留米大学の看護師養成の歴史を学ぶ	三橋【講義】	3つのポリシー確認	60 分	
第 3 回	久留米と久留米絣とゴム産業について《レポート提出》	三橋【演習】	「久留米絣と健康」「ゴム産業と健康」文献検索	60 分	
第 4 回	久留米絣と文化	三橋（ゲストスピーカー）	プレゼンテーションの事前準備	60 分	
第 5・6 回	《現地学習：アサヒシューズ工場》 久留米とゴム産業の発展、ゴム産業と企業再生、シューズと健康、自身の足計測	三橋、孫田、専任教員	講義中でのディスカッション・プレゼンテーションの事前準備	60 分	
第 7・8 回	《現地学習：久留米絣工房「藍生庵」》 久留米と地衣類、文化の継承と科学的探究 久留米絣人間国宝 松枝玉記の藍への思い	三橋、孫田、専任教員	講義中でのディスカッション・プレゼンテーションの事前準備	60 分	
テキスト	必要時資料配布				
運営協定	アサヒシューズ株式会社 〒 830-8629 福岡県久留米市洗町一番地 久留米絣工房「藍生庵」 〒 839-1215 福岡県久留米市田主丸町竹野 3		TEL 0942-37-1020 TEL 0943-72-4377		
成績評価					
方法（割合）	基準				
筆記試験（40%）	達成度を正答率で評価する。				
レポート提出（30%）	レポートの提出状況と内容をポイント化し評価する。				
受講態度（30%）	2回の「現地学習」への参加を必須とする。現地でのディスカッション・体験への主体的態度を評価する。				
課題（レポート等）に対するフィードバック	レポートは「現地学習」前に返却し、現地でのディスカッションでフィードバックする。				

科目名 ナンバリングコード	音楽と癒し NUS1111MN2	選択科目	1 年次 2 学期	講義	2 単位
科目責任者	非常勤講師 梅崎 京子				
教育目標 到達目標	<p>教育目標</p> <p>1) 現代社会における音楽の癒す力、啓発する力など音・音楽に関わる基礎的知識を習得する。</p> <p>2) 医療・福祉分野においてどのような形で生活の質・健康・人間関係を構築する仕組みを習得する。</p> <p>到達目標</p> <p>1) 多くのジャンルの作品・音源で音・音楽の持つ力が心理的・社会的にどのようなにもたらすか理解する。</p> <p>2) 多職種の面から対人援助における音楽の効果・効用など理解する。</p> <p>3) 一般社会の中でも音楽を積極的に利用していける力を実際に体験する。</p>				
授業計画					
授業回数	授業の内容	担当者等	準備学習（予習・復習等）	必要時間	
第 1 回	癒しの対象となる音・音楽 (1)	梅崎 【講義】	教科書・第 1 章読解（前）	15 分	
第 2 回	癒しの対象となる音・音楽 (2)	梅崎 【講義】	教科書・第 4 章読解（前）	15 分	
第 3 回	癒しの対象となる音・音楽 (3)	梅崎 【講義】	教科書・第 3 章読解（前）	15 分	
第 4 回	癒しの対象となる音・音楽 (4)	梅崎 【講義】	教科書・第 3 章読解（後）	15 分	
第 5 回	癒しの対象となる音・音楽 (5)	梅崎 【講義】	教科書・第 4 章読解（後）	15 分	
第 6 回	医療・福祉・対象の音楽 (1)	梅崎 【講義】	教科書・第 2 章読解（前）	15 分	
第 7 回	医療・福祉・対象の音楽 (2)	梅崎 【講義】	教科書・第 1 章読解（前）	15 分	
第 8 回	医療・福祉・教育対象の音楽 (3)	梅崎 【講義】	教科書・第 1 章読解（後）	15 分	
第 9 回	医療・福祉・教育対象の音楽 (4)	梅崎 【講義】	教科書全体読解	15 分	
第 10 回	医療・福祉の対象における音楽 (5)	梅崎 【講義】	計画書の曲選定	15 分	
第 11 回	音楽療法研究 計画・準備①	梅崎 【講義】	2015 年以降の楽曲・動向等 歌詞・プログラム作成	30 分	
第 12 回	音楽療法研究・課題発表 演習①	梅崎 【講義】	課題・作成	30 分	
第 13 回	課題発表 演習②	梅崎 【講義】	実践	30 分	
第 14 回	課題発表 演習③	梅崎 【講義】	実践 レポート提出	30 分	
第 15 回	音楽療法演奏会・まとめ・合唱	梅崎 【講義】	総括		
テキスト	今日すべきことを精一杯（日野原重明）（株）ポプラ社 2018 年 必要な時資料を配布する				
参考書	茂木健一郎：すべては音楽から生まれる 脳とシューベルト PHP 研究所 2008 年				
成績評価					
方法（割合）	基準				
レポート（30%） 受講態度（20%） 演習態度（30%） ミニッツペーパー （20%）	講義の中で出席状況・授業態度・グループ討議・ミニッツペーパー・グループワークの取り組み レポート評価等で総合的に判断して評価します。				
課題（レポート等）に対するフィードバック	レポート課題に対して返却はしないがミニッツペーパー、グループワーク等の実習（案）内容で各自振り返り作業をして講義の中で言及する。				

科目名 ナンバリングコード	文学 LIT1107MN2	選択科目	1年次 2学期	講義	2単位
科目責任者	非常勤講師 堺 富美子				
教育目標 到達目標	<p>教育目標</p> <p>1) 多くの文学作品に触れ、作品が書かれた時代背景や様々な手法を学びながら読解力を深める。</p> <p>2) グループワークで、他の人の読解や感じ方を知ることで、幅広い共感力を身に付ける。</p> <p>到達目標</p> <p>1) 作品を理解し、読む楽しさを自分のものにする。</p> <p>2) その楽しさを誰かに伝えたり、語り合う表現力を身につける。</p> <p>3) 読書をする時に、作品を多面的に味わうことができる。</p>				
授業計画					
授業回数	授業の内容	担当者等	準備学習（予習・復習等）	必要時間	
第1回	概論 フランス文学とは？	堺【講義】	作品を調べる	30分	
第2回	18世紀				
	①「赤ずきん」ペロー	堺【講義】	記憶と比較して読む	30分	
第3回	②「危険な関係」ラクロ	堺【講義】	書簡体小説に慣れる	30分	
第4回	19世紀				
	①「赤と黒」スタンダール	堺【講義】	心理描写を読む	30分	
第5回	②「無神論者のミサ」バルザック	堺【講義】	無神論を理解して読む	30分	
第6回	③「三銃士」デュマ	堺【講義】	作中人物の描き方を知る	30分	
第7回	④「愛の妖精」サンド	堺【講義】	映像化を考えてみる	30分	
第8回	⑤「最後の授業」ドーデ	堺【講義】	視点に注意して読む	30分	
第9回	20世紀				
	①「アルセーヌ・ルパンの逮捕」ルブラン	堺【講義】	人称に注意して読む	30分	
第10回	② フランス詩の世界	堺【講義】	詩の特徴を探して読む	30分	
第11回	③「星の王子さま」サンテグジュペリ	堺【講義】	アフォリズムを探す	30分	
第12回	④「ペスト」カミュ	堺【講義】	恐怖の描き方を読む	30分	
第13回	⑤「悲しみよこんにちは」サガン	堺【講義】	書き出しに注目し読む	30分	
第14回	フランスの絵本の世界「象のバンバール」	堺【講義】	メッセージを読む	30分	
第15回	まとめ	堺【講義】	15回の比較	30分	
テキスト	毎時間資料を配付します。				
参考書	『フランス文学案内』 渡辺一夫・鈴木力衛（岩波文庫） 1990年				
成績評価					
方法（割合）	基準				
レポート（50%）	到達目標に達しているかどうか、達成度を評価する。				
受講態度（50%）	講義後に提出するミニレポートとグループでの話し合いの記録を、毎時間ポイント化して評価する。				
課題（レポート等）に対するフィードバック	毎時間のミニレポートは最後に返却する。				

科目名 ナンバリングコード	スポーツ科学I HSS1116MN2	選択科目	1年次 集中講義	講義	1単位
科目責任者	人間健康学部 教授 右田 孝志				
科目担当者	人間健康学部 吉田 典子、奥野 真由				
教育目標 到達目標	<p>教育目標</p> <p>1) 現代社会における健康問題を知る。 2) 運動に伴う身体の生理・生化学的応答、運動がこころや身体に及ぼす効果・影響を学ぶ。 3) 運動実践上の留意点を学ぶ。</p> <p>到達目標</p> <p>1) 運動に伴う心身の生理的応答と運動が心身に及ぼす効果を理解し、説明できるようになる。 2) 日常生活で運動を安全に実践できるようになる。</p>				
授業計画					
授業回数	授業の内容	担当者等	準備学習（予習・復習等）	必要時間	
第1回	運動とからだ（1）運動と身体組成	右田【講義】	身体の構成要素をまとめること	60分	
第2回	運動とからだ（2）筋力・パワーと運動	右田【講義】	筋力とパワーの違いをまとめること	60分	
第3回	運動とからだ（3）有酸素運動	右田【講義】	運動に対する循環系の応答をまとめること	60分	
第4回	運動とこころ（1）—モチベーションの心理—	奥野【講義】	モチベーションのしくみ	60分	
第5回	運動とこころ（2） —健康スポーツ・競技スポーツと心理—	奥野【講義】	競技現場で行われている心理面のサポート	60分	
第6回	運動への医学的アプローチ（1）身体活動の効果	吉田【講義】	運動トレーニングの効果	60分	
第7回	運動への医学的アプローチ（2）身体活動と疾病予防	吉田【講義】	心臓リハビリテーション	60分	
第8回	運動への医学的アプローチ（3）運動療法	吉田【講義】	運動処方	60分	
テキスト	必要時、資料を配布する。				
参考書	健康づくりへのアプローチ 生活習慣改善マニュアル第3版 石川兵衛 著 文光堂				
成績評価					
方法（割合）	基準				
受講態度（30%） 試験（70%）	担当教員毎に試験実施またはレポートの課題を与え100点満点で評価し、担当講義数で重み付けをした平均を本授業の評価とする。また、私語をはじめとした授業にふさわしくない態度をとる学生、無断退出等の学生には受講を認めない場合がある。				
課題（レポート等）に対するフィードバック	課題に対するフィードバックは各回の講義中に行う。 最終のレポートは返却しない。				

科目名 ナンバリングコード	スポーツ科学Ⅱ HSS1416MN2	選択科目	1年次 Aクラス1学期 Bクラス2学期	講義・実習	1単位
科目責任者	非常勤講師 畦山 与里子				
教育目標 到達目標	<p>教育目標</p> <p>1) ピラティスを体験することで、健康維持のために必要なトレーニング方法を学ぶ。</p> <p>2) 運動を実践することで得られる効果や心身の変化を体感し、その楽しさと重要性を知る。</p> <p>到達目標</p> <p>1) それぞれのエクササイズの目的や効果を理解する。</p> <p>2) 適切な姿勢や身体の使い方を身につけるとともに、授業を通して心身の変化を感じる。</p> <p>3) 自己の身体の現状、課題を把握し、今後のライフスタイルで健康に過ごすための自己管理法を身につける。</p>				
授業計画					
授業回数	授業の内容	担当者等	準備学習(予習・復習等)	必要時間	
第1回	体オリエンテーション、ピラティス概論	畦山【講義】	前にシラバス確認	15分	
第2回	体力測定と評価	畦山【実習】	資料の予習と復習	30分	
第3回	呼吸法・インナーユニットの使い方	畦山【実習】	測定結果の確認と把握	30分	
第4回	骨盤・脊柱・骨盤の適切なポジション	畦山【実習】	エクササイズの復習	30分	
第5回	脊柱の分節運動	畦山【実習】	エクササイズの復習	30分	
第6回	各ユニットの可動性向上(下肢・骨盤帯)	畦山【実習】	エクササイズの復習	30分	
第7回	同上(胸郭・脊柱・肩甲帯)	畦山【実習】	エクササイズの復習	30分	
第8回	各ユニットの安定性の向上	畦山【実習】	エクササイズの復習	30分	
第9回	各ユニットの分離と共同	畦山【実習】	エクササイズの復習	30分	
第10回	腹筋群、背筋群の強化	畦山【実習】	エクササイズの復習	30分	
第11回	体幹の強化と四肢の運動性強化	畦山【実習】	エクササイズの復習	30分	
第12回	立位トレーニング、過負荷トレーニング	畦山【実習】	エクササイズの復習	30分	
第13回	立位トレーニング、ペアトレーニング	畦山【実習】	エクササイズの復習	30分	
第14回	全身のコーディネーショントレーニング	畦山【実習】	エクササイズの復習	30分	
第15回	体力測定と評価、まとめ	畦山【実習・講義】	初回測定結果の確認	30分	
テキスト	必要時、資料を配布する				
参考書	<p>Jane Paterson ; ティーチングピラティス, ナップ, 2010年</p> <p>中村 尚人 ; ピラティスアナトミ, ガイヤブックス, 2013年</p> <p>勝田茂編著, 和田正信, 松永智著 ; 入門運動生理学 杏林書院</p> <p>菅原 順二 ; ピラティス大全, 成美堂出版, 2021年</p>				
成績評価					
方法(割合)	基準				
受講態度(80%) レポート(20%)	授業への参加状況、積極的に取り組む姿勢を総合的に評価する。 課題内容に対して、的確に具体的に述べていること。				
課題(レポート等)	に対するフィードバック		レポート採点后に返却する。		

科目名 ナンバリングコード	倫理学 PHL1130MN1	必修科目	1 年次 1 学期	講義・演習	2 単位
科目責任者	非常勤講師 中谷内 悠 (九州大学大学院人文科学研究院)				
教育目標 到達目標	<p>教育目標</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 私たちが生きる上で、正しい生き方とはどのようなものかを見ずから問いかけ考え、そのように「倫理的に考える」力を身につける。 2) 考えるツールとして、倫理学史上の重要な概念や有名な議論について学ぶ。 3) 現代社会における具体的な諸問題や、身近な問題を例にとりて、学んだ思想を手がかりに、実際に議論をする。(例) 障がい者差別や女性差別など世の中には差別が沢山ありますが、どういものが差別にあたるのでしょうか? 脳死は人の死と認めるべきでしょうか? 富める人と貧しい人の格差を目の前に私たちは何をすべきでしょうか? なぜ自殺をしてはならないのでしょうか? etc. 4) 倫理学を勉強することを通してこのような問題を解決するためのコツを養い、そしてそれによって自分自身の生き方をより主体的に考える。 <p>到達目標</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 自分の生き方や現代社会の諸問題について、自分自身で考える力を持つようになる。 2) 生き方や現代社会の諸問題について、一つのものの見方ではなく、多様な見方ができるようになる。 3) 生き方や現代社会の諸問題について、自分の言葉で自分の考えを述べるができるようになる。 				
授業計画					
授業回数	授業の内容	担当者等	準備学習 (予習・復習等)	必要時間	
第 1 回	導入 1: 倫理学とは何であって何ではないか?	中谷内【講義】	各回において 前回の授業の復習をしておくこと。まとめノート の作成を宿題として課すこともある。	各回 0.5 時間程度を 最低必要時間のめ やすとする。	
第 2 回	導入 2: 事例をベースに考える	中谷内【講義・演習】			
第 3 回	異なる宗教、異なる文化、異なる規範	中谷内【講義・演習】			
第 4 回	自分の幸せは自分が決める? — 一本当の幸せとは何だろう—	中谷内【講義・演習】			
第 5 回	皆が従うべき道徳的ルールはあるのか?	中谷内【講義・演習】			
第 6・7 回	行為がもたらす結果だけから行為の正しさが決まる のか?	中谷内【講義・演習】			
第 8 回	行為の正しさは行為の結果にかかわらず決まる?	中谷内【講義・演習】			
第 9 回	すぐれた性格の観点から行為の正しさが理解される のか?	中谷内【講義・演習】			
第 10 回	医療と倫理 1	中谷内【講義・演習】			
第 11 回	医療と倫理 2	中谷内【講義・演習】			
第 12 回	医療と倫理 3	中谷内【講義・演習】			
第 13 回	本当にやるべきと思ったことは絶対にするか?	中谷内【講義・演習】			
第 14 回	その行為の責任はどこまで自分にある?	中谷内【講義・演習】			
第 15 回	まとめ	中谷内【講義】			
テキスト	なし (必要に応じて適宜プリントを配ります。)				
参考書	授業中に指示します。				
成績評価					
方法 (割合)	基準				
筆記試験 (30%) 受講態度 (70%)	授業中にみなさんに発表等してもらいます。但し、受講者の数が多く、そのような形が困難な場合には、 筆記試験 100% で評価します。				
課題 (レポート等) に対するフィードバック	宿題やミニッツペーパーに書かれたことについて各回の冒頭でコメントします。				

科目名 ナンバリングコード	比較文化論 ANT1109MN2	選択科目	1年次 2学期	講義	2単位
科目責任者	非常勤講師 永吉 守				
教育目標 到達目標	<p>教育目標</p> <p>1) グローバルな視点を持ち、具体的に行動につなげる思考様式を促す。</p> <p>2) 世界には様々な文化・社会が存在することを示し、その相違性と共通性の理解から多文化共生を促す。</p> <p>到達目標</p> <p>1) 文化と社会の概念を理解する。</p> <p>2) 人間の文化として、言語、生業、社会組織、家族と親族、信仰、性などが存在することを理解する。</p> <p>3) 文化や社会の単位として、民族集団やエスニシティなどが重要であることを理解する。</p> <p>4) 異文化理解の態度として、文化相対主義的な寛容性が重要であり、またその限界を理解する。</p> <p>5) グローバリゼーションについて、文化的文脈として理解する。</p> <p>6) 異文化理解にもとづく多文化共生について、現代の日本社会の状況から理解し、地球市民として行動する。</p>				
授業計画					
授業回数	授業の内容	担当者等	準備学習(予習・復習等)	必要時間	
第1回	イントロダクション	永吉【講義】	シラバスの確認	10分	
第2回	比較文化の手法(文化人類学的視点と方法)	永吉【講義】	手法を事前調査	20分	
第3回	「社会」の概念・「文化」の概念	永吉【講義】	キーワードを事前調査	20分	
第4回	文化相対主義と自民族中心主義	永吉【講義】	キーワードを事前調査	20分	
第5回	ことば・衣食住・生業の比較文化	永吉【講義】	具体的事例を事前調査	20分	
第6回	「社会」や「文化」の単位	永吉【講義】	キーワードを事前調査	20分	
第7回	家族・親族組織・結婚の比較文化(1)	永吉【講義】	具体例を予め想定	20分	
第8回	家族・親族組織・結婚の比較文化(2)	永吉【講義】	具体例を予め想定	20分	
第9回	信仰や宗教の比較文化ー「死」の事例からー	永吉【講義】	キーワードを事前調査	20分	
第10回	グローバリゼーションと異文化理解(1)	永吉【講義】	キーワードを事前調査	20分	
第11回	グローバリゼーションと異文化理解(2)	永吉【講義】	理論還元を事後確認	20分	
第12回	多文化共生への道(1)ー在日コリアンー	永吉【講義】	理論還元を事後確認	20分	
第13回	多文化共生への道(2)ーユンヌンチューー	永吉【講義】	理論還元を事後確認	20分	
第14回	多文化共生への道(3)ー定住外国人ー	永吉【講義】	理論還元を事後確認	20分	
第15回	医療・看護と比較文化、まとめ	永吉【講義】	15回全体を事後まとめ	20分	
テキスト	特に指定のものは用いないが、毎回講義資料を配布。				
参考書	綾部恒雄・桑山敬己『よくわかる文化人類学』ミネルヴァ書房、2010年。ほか適宜指示。				
成績評価					
方法(割合)	基準				
レポート(95%) 受講態度(5%)	講義内容に基づき、到達目標の達成度をオリジナルな具体例と合わせて評価する。 講義への積極的姿勢と質問・感想等をポイント化する。				
課題(レポート等)に対するフィードバック	毎回、質問・感想をフォームに記述し、その応答をMoodle等に掲載。				

科目名 ナンバリングコード	教育学 PDG1101MN2	選択科目	1 年次 1 学期	講義	2 単位
科目責任者	文学部 講師 小田 茜				
教育目標 到達目標	<p>教育目標</p> <p>1) 教育のイメージを広げる（学校教育、社会教育、民間教育、青年期教育）とともに、教育と社会の関係に注目することで、教育の現状を身近な社会問題とも結びつけながら理解する。</p> <p>2) 1) について教材に加え DVD 視聴や、個人ワーク、グループワークを通じて主体的・実践的に教育問題に対して向き合うことを目指す。</p> <p>到達目標</p> <p>1) 教育の諸問題に関する基本的知識を身に付け、自分で説明できるようになる。</p> <p>2) 自らの教育観・学習観を見直し、これら 2 つを客観的に捉え直すことができるようになる。</p>				
授業計画					
授業回数	授業の内容	担当者等	準備学習 (予習・復習等)	必要時間	
第 1 回 第 2 回 第 3 回 第 4 回 第 5 回 第 6 回 第 7 回 第 8 回 第 9 回 第 10 回 第 11 回 第 12 回 第 13 回 第 14 回 第 15 回	<p>オリエンテーション</p> <p>教育のイメージを広げる①</p> <p>教育のイメージを広げる②</p> <p>学校外教育の実践例</p> <p>高等教育進学①の現在①</p> <p>高等教育進学②の現在②</p> <p>現代社会における青年期教育①</p> <p>現代社会における青年期教育②</p> <p>教育と職業選択</p> <p>教育とジェンダー</p> <p>教育と貧困</p> <p>学校教育における部活動</p> <p>学校における人間関係①</p> <p>学校における人間関係②</p> <p>まとめ</p>	<p>小田【講義】</p> <p>小田【講義】</p> <p>小田【講義】</p> <p>小田【講義】</p> <p>小田【講義】</p> <p>小田【講義】</p> <p>小田【講義】</p> <p>小田【講義】</p> <p>小田【講義】</p> <p>小田【講義】</p> <p>小田【講義】</p> <p>小田【講義】</p> <p>小田【講義】</p> <p>小田【講義】</p> <p>小田【講義】</p> <p>小田【講義】</p> <p>小田【講義】</p>	<p>予習：関心の持った教育に関する新聞記事やニュースを整理する、復習：授業で示したポイントの整理をする</p>	<p>各回、予習 / 復習で最低 2 時間程度の主体的な学びが必要となる。</p>	
テキスト	適宜配布します。				
参考書	適宜配布します。				
成績評価					
方法 (割合)	基準				
受講態度 (20%)	受講態度は、積極的な発言、議論、グループワークへの参加などから評価します。				
提出物 (10%)	提出物は、ミニレポートの提出状況から評価します。				
テスト (70%)	学期末にテストを実施します。				
課題 (レポート等)	に対するフィードバック	その都度、自己評価と他者評価を行う。			

科目名 ナンバリングコード	心理学 PSY1100MN2	選択科目	1年次 1学期	講義	2単位
科目責任者	文学部 助教 石田 有紀				
教育目標 到達目標	<p>教育目標</p> <p>1) 看護師にとって不可欠な人間の行動やこころの動きに関する知識を身に付ける。</p> <p>2) 現代社会における身近なトピックのなかでも、とくに他者との関わりに焦点を当てて、エビデンスに基づいた心理学の研究成果を習得する。</p> <p>到達目標</p> <p>1) 日常生活における人間のこころの動きについて理解する。</p> <p>2) これまでの自分の生活を振り返るとともに、心理学の研究成果を今後の大学生活や看護師としてのキャリアに活かす。</p>				
授業計画					
授業回数	授業の内容	担当者等	準備学習 (予習・復習等)	必要時間	
第1回 第2回 第3回 第4回 第5回 第6回 第7回 第8回 第9回 第10回 第11回 第12回 第13回 第14回 第15回	オリエンテーション、心理学とは 健康の心理と人間理解 (1) 健康の心理と人間理解 (2) 健康の心理と人間理解 (3) 健康の心理と人間理解 (4) カウンセリングと心理療法 (1) カウンセリングと心理療法 (2) カウンセリングと心理療法 (3) 感覚・知覚の心理 学習・記憶の心理 感情・動機の心理 性格・知能の心理 発達の心理 社会・集団の心理 まとめ	石田【講義】 石田【講義】 石田【講義】 石田【講義】 石田【講義】 石田【講義】 石田【講義】 石田【講義】 石田【講義】 石田【講義】 石田【講義】 石田【講義】 石田【講義】 石田【講義】 石田【講義】	心理学に関する様々な事象についてグループでディスカッションを行います。仲間づくりを意識しながら参加してください。	各 20 分	
テキスト	看護学生のための心理学 編集：長田久雄 医学書院				
参考書	講義の中で提示する。				
成績評価					
方法 (割合)	基準				
課題 (40%) レポート (40%) 受講態度 (20%)	<p>グループワークや個人ワークの成果物をもとに到達目標の達成度を評価する。</p> <p>毎回提出するレポートをもとに到達目標の達成度を評価する。</p> <p>講義やワークへの積極的な参加姿勢を評価する。</p>				
課題 (レポート等)	に対するフィードバック	講義の中で解説する。			